令和４年 10 月３日　第７号

坂戸市立三芳野小学校学校だより

若　葉

みよし野のたのむの雁もひたぶるに
　君が方にぞよると鳴くなる
わが方によると鳴くなるみよし野の
　たのむの雁をいつか忘れむ（「伊勢物語」）

のびのびと生きる子…みんなと仲良くする子、よろこんで学ぶ子、しんけんに体をきたえる子

目指す学校像　〇一人ひとりが学校・地域を愛し、より良い自分をめざし、力を発揮する。
〇一人ひとりが仲間から必要とされ、互いの良さを認め合う。

≪特別支援教育の重要性について≫

子供たちは、性格、興味関心、得意なことや苦手なこと、学び方、感じ方、成長の仕方など、一人ひとりが違ったものを持っています。世界にたった一つだけの個性です。

ところが、その個性も大人になるまでの長い成長の過程で、色々な人や集団との関わりでうまくいかなかったり、学習や生活などで悩んだりすることがあります。これは誰にでもあり得ることです。

「今は大丈夫」と思っていても、思春期でつまずくケースもあります。また、社会人になって気づくケースもあります。また、今はとても困っていても、やがて落ち着くケースもあります。どのように成長するか、どのようなことでつまずくかは、複雑で予測が難しいものです。

子供自身が困難を自分で乗り越えたり解決できたりすることがありますが、困り感が長く続いたり、対応が難しくなったりして、自身は意欲を著しく失ってしまうことがあります。

すると、その後の成長に大きく影響を及ぼしてしまうことがあります。周囲の大人たちが、ちょっとサポートを工夫したり、困りごとや悩みに寄り添ったりするだけで、子供はやる気が高まったり、思わぬ成長を見せたりします。

子供は成長しようとするエネルギーを内に秘めています。子供の可能性や能力を大いに発揮し、自身や意欲を高めて生活や学習ができるように、家庭、地域、学校で連携してサポートしていくことが大切です。

また、苦手なことがあったり、悩んだりしている友達に対して、周囲の子供たちはそれをどのように感じ、どのように関わっていくか、これも大切な特別支援教育の役目です。

特別支援教育とは、一人ひとりの子供の得意なところ、苦手なところをしっかりと把握したうえで、その子に合った方法、内容、速さ、順番で学びを進める教育です。この学びを通して、子供の可能性を引き出し、自信をもって人生を歩めるようにしていくものなのです。

8/29 始業式 児童代表の言葉

8/29　２学期のスタート！

9/2　県学調接続テスト

9/21　５年宿泊学習